

接合科学研究所 女性の会(JWRI 女会) ～ 第2回 JWRI 女会セミナー ～

梅田 純子

接合機構研究部門 複合化機構学分野 准教授

2019年1月23日(水)に接合科学研究所 荒田記念館にて第2回 JWRI 女会セミナー「心のささやきを聴こう」を高等教育・入試研究開発センター、男女協働推進センターとの共催、さらに、接合研だけでなく高大接続サポーターに登録している理工歯薬学部の7名の女子学生が企画・運営に携わり開催しました。講師には、名越康文氏(精神科医)を迎え、75名(接合研37名、他部局33名、外部5名)の教職員と学生が参加しました。

まず、講演に先立ち、接合科学研究所の南 二三吉所長より本研究所と JWRI 女会の紹介が行われ、本セミナーが昨年度に続き男女協働の活性化の一環として開催されていることが話されました。

名越康文先生から、長年に渡る臨床経験から現在研究されている整体をベースとした体癖論の説明が行われました。次に、企業での研修にも使われている類人猿診断は、人を大型類人猿4つのタイプ(オランウータン、チンパンジー、ゴリラ、ボノボ)に分類する性格診断法であり、その類人猿の生態や特徴などと共に、自分や相手に当てはめた時の性格傾向を学びました。質疑応答も活発に行われ、短時間でしたが、組織の中で個々が持つ力を最大限発揮できるよう、自分を知り相手を知ること、コミュニケーションをより円滑にできるのではないかと感じました。

参加者からは、「人間関係で悩んでいたが、受講して気持ちの持ち方が変わった」「学びの多い場で元気をもらった」など、気持ちが前向きになったというコメントが多く寄せられました。また、「それぞれの異なる考え方を受けとめる重要性を理論とともに学べた」「就職活動の自己分析で悩んでいたので、見方を変えてみたい」「授業の初回やクラス分けなどで使ってコミュニケーションのツールになる」「本セミナーが新任教員研修の一部になると良い」など、参加者の仕事や勉学へのモチベーション向上に繋がる学びの多いセミナーとなりました。

多くの参加者の心に響くセミナーとなり、「どのタイプだった?ゴリラ?」などの会話から、職場や家庭などで、より円滑なコミュニケーションを築くことができると期待されます。また、JWRI 女会では今後も人と人をつなぎ、紡ぐ役割も果たしていこうと思います。

